

# 2021年9月15日 関東甲ブロック会議 群馬県社保協の報告

事務局長 佐藤 明

## 1. 直近の幹事会開催

7月21日(水):群馬県内全自治体懇談の日程確認 等  
日程(別紙資料)

## 2. 全自治体懇談

35自治体中開催は、4自治体。残りは、コロナのため中止。

4/35=自治体懇談が出来た自治体(渋川市 8/3、吉岡町 8/3、伊勢崎市 8/4、玉村町 8/3)

事前学習開催=伊勢崎佐波社保協(7/17)、渋川北群馬社保協(7/24)、利根保健生協(8/4)  
8/6に群馬県内のコロナ感染症拡大にともない、以降の自治体懇談の中止を判断しました。

渋川市の特徴:8/3(火)9時30分から10時30まで1時間懇談を行いました。参加団体は、市議2人、北毛保健生協(6人)、渋川北群馬民商(4人)。渋川市の基金残高が高額である事を指摘をして、コロナ禍で有効な使い方として、来年度の保険税の減額と困窮者へ対する生活保護申請のアウトリーチ、44条減免申請の拡大を要求しました。渋川市との懇談の内容は、別紙資料(商工新聞で掲載されました)

民商から国保加入者への傷病手当支給制度の要求と自営業者や生活受給者から困難な状況が伝えられ、国保税の減額、相談活動の活発化がうたえられました。自治体側の対応は、コロナ禍で厳しい状況を把握している事と基金の残高の活用を検討する事が返答されました。

## 3. 今後の予定

8月、9月に幹事会を開催する事が出来ませんでした。10月は、開催を予定。12月総会に向けた準備と今年度のまとめ、コロナ禍での取り組みの前進を協議したい。総選挙に向けた取り組みは、他団体と共に行動をしています。

2021群馬県社保協自治体要請行動日程

現在:2021/7/21

※貴団体のご都合、ご希望を県社保協事務局にお伝えください。

8月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
		渋川市 9:30~10:30 吉岡町 11:00~12:00 玉村町 10:00~10:30 榛東村(拒否)	伊勢崎市 10:00~10:30			
8	9	10	11	12	13	14
	山の日振替				お盆期間中	
15	16	17	18	19	20	21
	お盆期間中	東吾妻町 9:30~10:30 中之条町 11:00~12:00  邑楽町 9:30~10:30 千代田町11:00~12:00 大泉町13:30~14:30	草津町 9:30~10:30 長野原町11:00~12:00 嬭恋村(拒否) 板倉町10:00~11:00 明和町13:00~14:00 館林市14:30~16:00	沼田市 10:00~11:30 みなかみ町13:30~14:30 高山村15:30~16:30	昭和村 10:00~11:00 片品村 13:30~14:30 川場村 15:30~16:30	
22	23	24	25	26	27	28
	太田市 14:00~15:30	桐生市13:00~14:30  16:00 みどり市			神流町 10:00~11:00 上野村 13:00~14:00 南牧村 15:00~16:00	
29	30	31				

※高崎社保協→高崎市、安中市、藤岡市、富岡市、甘楽町、下仁田町を担当。

2021群馬県社保協自治体要請行動日程(案発送用)

現在

※貴団体のご都合、ご希望を県社保協事務局にお伝えください。

9月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
			高崎市 10:00~11:30	安中市 10:00~11:30 藤岡市 14:00~15:30	甘楽町 10:00~11:00 富岡市 13:30~15:00 下仁田町 16:00~17:00	
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
	敬老の日			秋分の日		
26	27	28	29	30		
		前橋市 午後	前橋市 午後			

※高崎社保協→高崎市、安中市、藤岡市、富岡市、甘楽町、下仁田町を担当。

群馬県渋川市が国保改善

# 国保費 個人事業主に傷病見舞金



渋川市で意見交換する、渋川北群馬民商の経済団体等(商会、商工会議所、森林組合、旅館組合、農協)などの意見交換会に、民商から狩野哲夫会長(左)、生方大輔事務局長(右)が参加した。市内の伊香保温街への訪問・対話行動(6月20日)で聞いた店主らの窮状を伝え、製造業や建設業への支援と、事業主への傷病手当金制度の創設を要望。高木市長は「各団体からの意見を市政に反映していきたい」と回答した。

8月3日には、民商も加わる渋川北群馬地域社会保険推進協議会が市と懇談。国保、介護保険の滞り差し押さえの問題や生活困

## 「中小商工業研究」など示し交渉

「新型コロナウイルスに感染した、国民健康保険(国保)に加入する個人事業主を支援するため、傷病見舞金として1人一律20万円を支給する」。群馬県渋川市の高木哲夫市長は8月23日、記者会見で発表しました。渋川北群馬民商工会(民商)が繰り返し求めていたものです。予算は200万円。対象期間は、当面2020年1月1日と21年12月31日とし、同一の加入者1回限りの支給などとなっています。

# コロナ感染1人20万円

## 渋川北群馬民商の運動実る

7月30日、市が開催した経済団体等(商会、商工会議所、森林組合、旅館組合、農協)などの意見交換会に、民商から狩野哲夫会長、生方大輔事務局長が参加しました。市内の伊香保温街への訪問・対話行動(6月20日)で聞いた店主らの窮状を伝え、製造業や建設業への支援と、事業主への傷病手当金制度の創設を要望。高木市長は「各団体からの意見を市政に反映していきたい」と回答しました。8月3日には、民商も加わる渋川北群馬地域社会保険推進協議会が市と懇談。国保、介護保険の滞り差し押さえの問題や生活困窮者への対策などについて意見交換し、狩野会長、松澤俊夫経営対策部長、生方事務局長ら3人を含む14人が参加しました。生方事務局長は、全商連が行った自治体アンケートを基に「個人事業主向けの傷病手当金創設」の必要性を訴えた論文が掲載された「中小商工業研究 第147号」を示し、「各自治体は工夫して、事業主にも傷病手当金を創設している。県内の国保町は、傷病見舞金として、り患した個人事業主を支援している。他の自治体を参考に創設してほしい」と強く訴え、松澤経営対策部長は自身の経験を交えつつ、「障害者認定などの手続きをした時、幾つもの課をたらい回しにされた体験があった。誰もが相談しやすい環境づくりを」となごも切実な要求を伝えました。市は資料を参考に「研究したい」と回答していました。(渋川北群馬・生方大輔 通信)

### 国保料37万円減額

国保料減額の決定通知書各手に「うれしい」と話す下木入部長

県連



奈良県連が開いた清水森院議員との懇談

### 全業者

奈良県連

「政治家は私たちの声を聴いて」。奈良県商工団体連合会(県連)は先ごろ、日本共産党の清水忠史衆院